

2. 多文化国際交流科 (2025年度)

【月曜日授業予定表】 講師: 大阪国際交流センター、大阪日本語教育センター、アジア協会アジア友の会等

		午 前			午 後					
回	月	日	曜日	講義数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
					①入学式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)					
1	4	14	月	1	多文化共生社会をめざして (国際交流への誘い)	日本に多様性をもたらした新たな成長機会を創出する「多文化共生社会」とは	橋本 政幸 大阪府日中友好協会	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明	クラスオリエンテーション	
		28	月	2	多文化共生の現状と課題	大阪市の多文化共生への取り組みについて(一人ひとりにできること)	岸 俊之 大阪国際交流センター	高大オリエンテーション、班役割分担説明		
	12	月	3		・班各担当・班長決定 各担当別会議(代表者決定他)		熱田 典子 アジア協会アジア友の会	ネパールに嫁いで知った文化	日本在住のネパール人が増える意図をさぐる	
	5	19	月	4	コーダイ流の多文化国際交流①	自分に出来る国際交流とは	出水 眞由美 MIRAI PLUS代表	クラス委員長決定、第1回遠足先行検討		
	6	26	月	5		第1回遠足先行決定	松村 嘉久 阪南大学教授	★国際観光都市・大阪と大阪・関西万博	大阪・関西万博が大阪の国際化にどのような影響を与えるのか。	
	7	2	月	6	コーダイ流の多文化国際交流②	SDGs(持続可能な開発目的)の根底にある多文化共生について	出水 眞由美 MIRAI PLUS代表	自主企画講座検討、懇親会		
	8	9	月	②	★	② 遠 足				
	9	16	月	⑦		日本語の教え方を学ぼう①	日本語で心通じるコミュニケーションをするには	磯田 郁子 大阪日本語教育センター副センター長	③社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)	
	11	21	土	8		自主活動		大阪日本語教育センター 留学生	★多文化交流会	留学生と日本語でコミュニケーション交流
	12	30	月	9		日本語の教え方を学ぼう②	日本語で心通じるコミュニケーションを実践	磯田 郁子 大阪日本語教育センター副センター長	健康まつり説明 参加対応検討、自主企画講座検討	
13	7	14	月	10	音楽を通じて多文化を学ぶ	西洋音楽の成立過程と、日本音楽への影響を考察	小西 功修 トランシールズジャパン株式会社	フェスタ概要説明・クラス発表区分(展示・演芸)検討		
	8				夏 休 み					
2	14	8	月	11	フランス文化について	フランスと日本の衣食住文化の相違	田中 恵利佳	コーダイフェスタ発表準備、自主企画講座決定		
	15	9	22	月	12	生命の水 うるおす未来	2025年スリランカの今	柿島 裕 アジア協会アジア友の会	コーダイフェスタ発表準備	
	16	29	月	13	★JICA関西協力の活動を学ぶ	海外から見た日本(海外体験談)	JICA海外協力隊	JICA関西 見学		
	17	6	月	14	共に生きるために	外国人住民は支援を受ける存在ではなく、共に地域を創っていく担い手である	木村 多恵子 ユール学園校長	健康祭り参加準備・コーダイフェスタ発表準備		
	18	8	水	④	④コーダイ健康まつり					
	19	20	月	15		コーダイフェスタ発表準備	留学生 (ユール学園)	留学生と日本語でコミュニケーション交流		
	20	27	月	16	★海外からの人材の育成について	産業人材にかかわる教育方針と課題の解決方法をさぐる	調整中	施設見学、交流会		
	21	10	月	17	フィンランドの文化について	フィンランドはなぜ幸福度が高いのか	トッティ・タッパー トランシールズジャパン株式会社	コーダイフェスタ発表準備仕上げ		
	22	11	12	水	⑤	⑤コーダイフェスタ				
	23	17	月	18	コーダイ流の多文化国際交流③	社会参加活動の目標と取り組み(ワークショップ)	出水 眞由美 MIRAI PLUS代表	卒業旅行打合せ		
24	1	月	19		卒業旅行先行決定		松村 嘉久 阪南大学教授	★大阪における多文化共生の現場から	多文化共生の理想的なあり方とは	
25	12	8	月	20	日本という国で生きる	日本社会の一員となったバングラデシュ人	マホムッドジャケル	卒業旅行先行決定		
26	15	月	21		自主企画講座			ワンワールド(社会参加活動の準備)		
					冬 休 み					
3	27	19	月	22	ウクライナの今	ウクライナ人道支援を続ける中、見えてきたものは	小野 元裕 日本ウクライナ文化協会	成果発表会内容検討		
	28	26	月	23	★イスラム教を学ぶ	モスク(イスラム教の礼拝堂)を大阪に建設の意図からみえることは	アズィズルガフル Cultural Hub 代表	マシンドイスティラル大阪 見学 (イスラム教礼拝見学)		
	29	2	月	24	スペイン(カタルニャ)を知る	独自の歴史・伝統・習慣・言語を持ち、民族意識を有してカタルニャについて	関西カタルニャセンター	成果発表会準備		
	30	7	土	8	⑥	⑥社会への参加活動・・・(1学期から3学期の間に活動日を1回設定) ワンワールドフェスティバルに出展、ボランティア活動の情報交換				
	31	16	月	25	多文化国際交流の根源	「出会い」「学び合い」「支え合い」国を超え、大阪から新たな活力を!	岸 俊之 大阪国際交流センター	成果発表会準備		
32		26			学習成果発表会					
33		2	月	⑦	⑦修了式					
34		9	月	⑧	⑧・⑨卒業旅行(1泊2日)					
35		10	火	⑨	⑨					
					授 業(自主企画、成果発表会含む)	26(講座数列1~26)				
					学 習 事 業 (① ~ ⑨)	9(講座数列①~⑨)	2024.10.25			
					合 計	35				

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。